

# 第2学年 道徳学習指導案

3組 計22人 (男子11人, 女子11人)

指導者 野下 賢 剛

- 1 主 題 名 働きたくなる気持ち (4-(2) 勤労)  
読み物資料「ふしぎな気持ち」(学研教育みらい2年)

## 2 主題について

- (1) 内容項目と (2) 指導内容についての基本的な立場

### その系統

#### 【低学年4-(2)】

働くことのよさを感じて、みんなのために働く。

#### 【中学年4-(2)】

働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。

#### 【高学年4-(4)】

働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。

働くことは、人として生きていく上で不可欠なことであり、生きている実感を手に入れるための一つの手段である。誇りや喜びを見だし、生きがいをもって働くことが望まれる。このことが、社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びを味わうことにつながる。ここでは、働くことの大切さや意義を自分とのつながりで理解し、将来の社会的自立に向けて、健全な勤労観や職業観を育むための、大切な考え方を身に付けていくこととなる。

この期の子どもたちは、掃除や当番活動などにおいて、褒められることを喜び、積極的に働こうとする傾向がある。例えば、朝の自主清掃では、「みんなで働こう」を合言葉に、積極的な取組を心掛けている。しかし、やりたいという気持ちはあっても、登校が遅れ、清掃に参加できない子どもも見られる。また、働くことのよさ(自分がすがすがしい気分になる、自分が働くことで喜んでくれる人がいる、自分が働けば周りの環境がよくなるなど)の実感を伴った実践にまで高まっていない場面も見られる。

そこで、本主題では、働くことのよさに目を向け、より広い視点から考えられるようにしていく。働くことが自分にとってどのような喜びを生み出すのか、自分以外の人や物にとってどのような幸福につながるのかを理解できるようにする。また、働くことのよさに対する意識を高めることによって、働く目的が明確になり、意欲を高めた実践につながることに気付けるようにする。これらのことにより、子どもたちが社会の一員としての誇りや喜びを自覚し、進んで社会に役立とうとする意欲や態度を育てる。

### (3) 本主題の指導内容及び道徳的価値の構造

#### 第1学年及び第2学年

働くことのよさを感じて、みんなのために働こうとする態度を育てる。

#### 道徳的実践を支える考え方や感じ方

対自分	ア 働くことができ気持ちがいい イ 自ら進んで働こう ウ 働くことにやりがいを感じる	(自己の快感) (意欲の高まり) (感性の高まり)
対他者	エ 働く褒められる オ 他者を喜ばせることができる カ 他者と一緒に働くことができる	(他者からの称賛) (他者の幸福) (他者との共感)
対社会	キ 働くことで環境がよくなる ク 働くことを大切にする集団ができる ケ 進んで働こうとする社会ができる	(環境改善への貢献) (望ましい集団の形成) (魅力ある社会の実現)

二面性

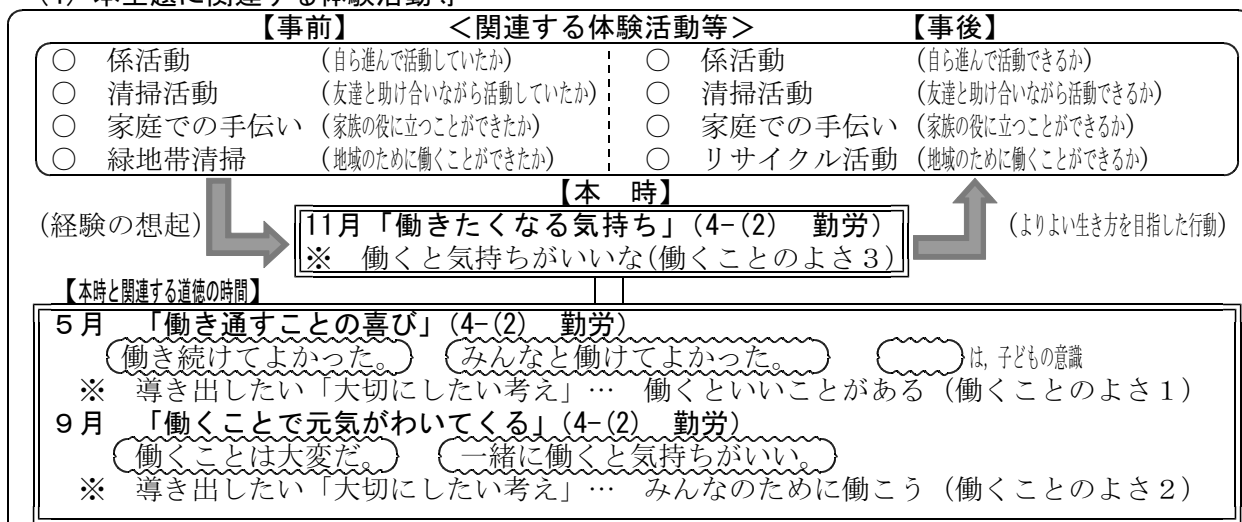
#### 実践を阻む要因

- a 責任感の欠如  
(活動時間に遅れる)
- b 他への欲求  
(他にすることがある)
- c 意欲の欠如  
(働こうと思わない)
- d 怠惰  
(働くのは面倒だ)
- e 利害の判断  
(働く価値はない)
- f 無関心  
(自分には関係ない)

心の葛藤

- ① 働く気持ちがいい(感情)      ② 働くとき喜ばれる(奉仕)  
③ みんなで働こう(共感)      ④ 進んで働く仲間がほしい(共生)      ⑤ 働くとき褒められる(称賛)  
⑥ 働くといいことがある(結果)      ⑦ 働く自分が好き(成長)      ⑧ 最後までやり通す(意欲)

(4) 本主題に関連する体験活動等



3 子どもの実態

(調査人数 22人 複数回答あり H23. 9. 7)

(1) 本主題に関する経験場面①

進んで働くことができた経験	人数
・ 家事の手伝い (皿洗い, 洗濯, 掃除)	9
・ 掃除	8
・ 人の手伝い (荷物持ち, お遣い)	4
・ 宿題	2
・ 地域のリサイクル活動	1

(2) 本主題に関する経験時の感情

進んで働くことができたときの気持ち	人数
・ すっきり, 安心した, 楽しかった	14
・ がんばったな (働いてよかった)	3
・ きれいになってよかった	3
・ 役に立ってよかった (いいことした)	3
・ 褒められて嬉しい	1

(3) 本主題に関する経験場面②

進んで働くことができなかった経験	人数
・ 家事手伝い (洗濯, 布団, ゴミ出し)	10
・ 掃除	5
・ 人の手伝い (お遣い)	4
・ 宿題	3

(4) 本主題に関する経験の理由

進んで働くことができなかった理由	人数
・ 他にやりたい (やる) ことがあった	11
・ やりたくない, 疲れた	11
・ 忘れていた	2
・ あわてていた	1

(5) 道徳的価値の意義

進んで働くことでどんなよいことがあるか	人数
・ 褒められる	13
・ すっきりする (嬉しく笑顔になる)	5
・ 周りのみんなが喜ぶ	2
・ 心がどんどんきれいになる	1
・ 何かもらえる (ご褒美, お金)	1
・ 周りの物 (場所) がきれいになる	1
・ 後からいいことがある	1

(6) 道徳的価値に対する心構え

進んで働くためにどんな考えをもつか	人数
・ がんばろう (自ら, 積極的に)	13
・ みんなのために, 人を助けよう	5
・ 働いたらすっきりする (楽しい)	3
・ 褒められるようにがんばる	1
・ みんなのために働ける自分でいたい	1
・ 心をきれいにしよう	1

【考察】

(1)から, 進んで働くことができた経験を全員がもち, それらは学校だけに留まらず, 家庭や地域での経験に及んでいることが分かる。5月に行った同様の調査では, 学校での経験を想起している子どもが多かった。(2)から, 進んで働くことができたときの気持ちとしては, ほとんどの子どもが自分自身の心地よさを挙げている。また, 「きれいになってよかった」と, 公共の場の美化や, 「役に立ってよかった」と, 他人の喜びを考える気持ちも挙げられている。(3)の進んで働くことができなかった経験も, 学校や家庭での経験が挙げられている。(4)の理由としては, 他への欲求であったり, 怠惰な気持ちが主な要因となっていることが分かる。(5)の進んで働くことの意義では, 「褒められる」という意識を強くもっていることが分かる。5月の調査では「褒められる」と同じ程度に「何かもらえる」という物欲の意識が強かったが, 今回の調査ではその意識が薄かった。(6)の進んで働くための心構えでは, 「自ら積極的にがんばろう」という考えが多かった。また, 「みんなのために, 人を助けよう」という他人への奉仕の心にも目が向いていた。5月の調査では, この考えが表れていなかったのが, 子どもたちの考える対象が広がりを見せていることが分かる。さらに, 少数意見の中にも自分自身の成長に目を向けるなどの大切な考えがあることが分かる。

この調査を踏まえ, 進んで働く場面を学校・家庭を通して広くとらえ, さらに地域での場面にも目を向けることができるようにしていきたい。また, 働くことができたときの気持ちが, 公共の場の美化や他人の喜びに向いていることを取り上げ, 子どもたちの視野を広げるきっかけとしたい。そして, 進んで働くことの意義については, 打算的な考えが多くを占めているが, 発達の段階を考慮して, まずは認めたい。加えて, 進んで働くための心構えとして挙げられている, 「みんなのために働ける自分でいたい」, 「心をきれいにしよう」という自己の成長に目を向ける考えは, 補助発問等で投げ掛けることができるように準備し, 今回, 子どもたちに意識してほしい「働く気持ちがいい」という考えとあわせて大事に扱っていくようにする。

#### 4 資料について

##### (1) 資料のあらすじ

場面は、嵐で荒れた森の広場。森の動物たちは後片付けを始めるが、狸のポコと狐のコンは気が進まない。しばらく経った後、気持ちの不快さを感じたポコは働き始める。一方、働くことを拒否し続けるコンだったが、働いているポコが言った「なんだかふしぎな気持ちになる」という言葉に触発されて、やっとのことで働き始める。やがて、働くことの快さやみんなと一緒に働くことの喜びを感じるコンであった。

##### (2) 資料の分析・子どもの反応予想

場面	分析（価値構造図 p143より）	予想される子どもの反応
1 働こうとしないコン 【心の弱さ】	c 意欲の欠如（働こうと思わない） d 怠惰（働くのは面倒だ） e 利害の判断（働く価値はない） ③ 共感 ⑥ 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働いても元通りにならない。</li> <li>・ 働いても無駄だよ。</li> <li>・ 疲れるから働かないよ。</li> <li>・ 他の人がやればいいよ。</li> </ul>
2 働くと思えない気持ちになるとポコに言われたコン 【迷い】	イ 意欲の高まり（対自） カ 他者との共感（対他） d 怠惰（働くのは面倒だ） ③ 共感 ④ 共生 ⑥ 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不思議な気持ちっておもしろそうだな。</li> <li>・ どんな気持ちなのか知りたい。</li> <li>・ 働くと思えないけどなあ。</li> </ul>
3 働くことのよさを感じたコン 【感動】	ア 自己の快感（対自） カ 他者との共感（対他） ク 望ましい集団の形成（対社） ① 感情 ② 奉仕 ③ 共感 ④ 共生 ⑥ 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疲れたけど何だか気持ちがいい。</li> <li>・ 森のみんなも気持ちがいいのだ。</li> <li>・ みんなと働けて嬉しい。</li> <li>・ 働いてよかった。</li> <li>・ これが不思議な気持ちなんだな。</li> </ul>

この資料は、働くことに対して怠惰な気持ちをもちながらも、友達の手伝いを聞いたり働く姿を見たりして働き始めるコンを主人公とする話である。嵐で荒れてしまった森の広場をみんなで元通りにするという内容は、毎日自主的に朝の掃除に取り組んでいる本学級の子どもたちに身近な内容であり、共感しやすい資料であるといえる。子どもたちは、働くことに怠惰な気持ちを抱いたり働いた後に清々しい気持ちを感じたりするコンに自分を重ね合わせ、これからの自分を考えることができるであろう。

今回、進んで働くことの意義として、「友達と一緒に働くことができる」、「働くことを大切にできる集団になる」など、自分や自分以外という見方・感じ方・考え方の対象の視点から幅広く考え、進んで働くことのよさを多様に把握できるようにする。また、進んで働くための心構えとして、「働くと思えばいい」、「働くと思える」などをより意識し、自分がより「大切にしたい考え」を見付け出すことができるようにするために、この資料を活用する。

#### 5 本時

##### (1) 目標

働くことのよさや進んで働くための考えをつかみ、自ら進んで働こうとする意欲を育てる。

##### (2) 指導に当たって（研究との関連）

- 「見つめる」過程では、進んで働くことの意義に迫る場面で、ワークシートを活用して、自分の考えや生かしたい友達の考えを書く活動を取り入れる。そのことで、子どもたちが、観点（考える対象—対自分、対周囲）を意識して自分の考えを明確にしたり、友達の考えとの交流をしたりできるようにする。そして、研究内容に最も照らした活動として、自分が考える大切な考えを自ら見付け出す活動を取り入れる。本時の学習を通して自ら考えてきたことを基に、高まった思いから大切な考えをどのように見付け出せるかが重要となる。その際、自分がその考えを見付け出した理由について、友達との対話の中で述べるようにすることを重視し、より効果的な指導に努めていく。
- 「深める」過程では、「見つめる」過程とのつながりをもたせながら、進んで働くための心構えを自覚化する中で、「大切にしたい考え」と関連する日常生活を想起して、「自分づくりカード」にまとめる活動を取り入れる。そのことで、関連する日常生活の場面において、「大切にしたい考え」をもって実践できそうだという展望を抱けるようにし、それを自分なりの方法で自ら表現できるようにすることで、日常生活への実践意欲の向上を図る。

過程(分)	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導
1	<p>1 日常の進んで働く場面について考える。</p> <p>進んで働けた時にはどんな気持ちになりますか。また、なぜできないときがあるのだろうか。</p> <p>朝の掃除をできたときにはすっきりします。でも、登校が遅くてできないときがあります。</p> <p>家の手伝いをするとお母さんが喜びます。でも、他の事がしたくてできないことがあります。</p> <p>もっと進んで働く人になるための、「大切にしたい考え」は何だろう。</p>	<p>☆ 実態調査の結果を電子黒板に提示し、その結果について感想を交流できるようにする。</p> <p>○ 働いたときの快い感情と、働くことができない理由を基に、意識と行動の矛盾に共感できるようにし、問題意識を高めたための設定ができるようにする。</p> <p>○ めあてに、深める過程で扱っている「大切にしたい考え」という言葉を入れることで、学習に見通しをもつことができるようにする。</p> <p>☆ 資料をデジタル化し、電子黒板で提示する。</p>
2	<p>2 資料「ふしぎな気持ち」を視聴し、主人公のコンの気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) 働くことに気が向かないコンの気持ちについて話し合う。</p> <p>・ どうせ働いても元通りにならないよ。 ・ 働いても無駄だよ。</p> <p>・ 疲れるから働かないよ。 ・ 他の人がやればいいよ。 &lt;働きたくない&gt;</p> <p>(2) 働くと思議な気持ちになるとポコに言われたコンの気持ちについて話し合う。</p> <p>働いてみようかな ← やっぱり面倒だな</p> <p>・ 不思議な気持ちってどんな気持ちだろう。 ・ 働くと疲れるけどな。</p> <p>・ どんな気持ちなのか知りたいな。 ・ 疲れたら気持ちよくないのに。</p> <p>(3) 「なんだかすごく気持ちがいいなあ。」と言うコンの気持ちについて話し合う。(意義)</p> <p>対自 ・ 働く気持ちがいい。 ・ 不思議だな。 ・ 不思議な気持ちがあった。</p> <p>対周 ・ みんなと働けてよかった。 ・ 森がきれいになってよかった。</p>	<p>○ 「働きたくない」から「働いてみよう」という気持ちに変化する様子を構造的に板書することで、コンの気持ちの変化をとらえやすくする。</p> <p>○ 「なんだかすごく気持ちがいいなあ。」と言うコンの気持ちを考えることで、働くことの意義についてとらえることができるようにする。</p> <p>○ ワークシートに表れた考えを、2つの観点&lt;対自分、対周囲&gt;で教師が分類することで、子どもが大切な考えを見付け出しやすくなり、友達との考えと交流しやすくなります。(分類・整理する)</p> <p>◆ さらに生かしたい大切な考えを見付け出すことができたか。【ワークシート・発言】</p> <p>の考えを明確にし、友達との考えと交流して大切な考えを見付け出すことができるようにする。</p>
3	<p>3 これからの自分を見つめ、進んで働くことに関する「大切にしたい考え」と生活を結び付ける。</p> <p>これからあなただけが自分の生活に生かしたい「大切にしたい考え」は、どんな考えですか。</p> <p>・ 働く気持ちがいい。 ・ 働くとき喜ばれる。 ・ みんなで働こう。</p> <p>その「大切にしたい考え」を生活のどんな時に生かしていきたいですか。</p>	<p>☆ 日常の進んで働いている場面の写真や電子黒板に映し出すことで、資料から離れ自分自身のことを考える切替ができるようにする。</p> <p>○ 「自分づくりカード」を用いて、本主題に関する「大切にしたい考え」を、日常生活と結び付けて考え、自ら表現することにより、これからの生活への実践意欲が高められるようにする。(自覚化する)</p> <p>自ら今後の生き方について書いてまとめてめたり、発表したりして表現することができたか。【発表・「自分づくりカード」・発言・うなずき】</p>
4	<p>4 教師の説話を聞き、進んで働こうという実践意欲を高める。</p> <p>これからぼくは、「働く気持ちがいい」という考えを大切にしたい。掃除や係活動ががんばってみたいと思います。</p> <p>これから私は、「働くとき喜ばれる」という気持ちを大切にしたい。家の手伝いをしたくないと感じたときに思い出してみたいです。</p>	<p>○ 「大切にしたい考え」を、日常生活と結び付けて考え、自ら表現することにより、これからの生活への実践意欲が高められるようにする。(自覚化する)</p> <p>自ら今後の生き方について書いてまとめてめたり、発表したりして表現することができたか。【発表・「自分づくりカード」・発言・うなずき】</p>